

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日
東

上場会社名 バルミューダ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6612 URL https://corp.balmuda.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺尾 玄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 佐藤 雅史 (TEL) 050(3733)2595
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,702	—	454	—	462	—	301	—
2020年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 305百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	36.99	36.66
2020年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2020年12月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	8,967	5,515	61.5
2020年12月期	9,113	4,760	52.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 5,515百万円 2020年12月期 4,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,100	43.8	1,450	10.1	1,435	14.6	931	11.6	113.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	8,254,700株	2020年12月期	7,735,000株
2021年12月期1Q	—株	2020年12月期	—株
2021年12月期1Q	8,139,032株	2020年12月期1Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）による影響のなか、持ち直しの動きが続いているものの、依然として厳しい状況にありました。先行きについては、感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げながら、徐々に回復していくことが期待されます。

当社グループに関連する家電業界については、一般社団法人日本電機工業会（JEMA）によると、2021年1月から3月における民生用電気機器の国内出荷金額は6,139億円（前年同期比114.5%）となりました。また、白物家電機器分野における2021年度の予想国内出荷金額は2兆4,793億円（前年度比98.2%）と前年度をやや下回る見通しですが、巣ごもり需要の継続等が予想されることから、高水準であった2020年度に次ぐ水準になるものと見られています。加えて、多様な暮らしや働き方等の社会環境及び新しい生活様式も定着しつつあり、健康清潔志向や高機能・高付加価値製品に対する消費者ニーズは今後も一定程度継続するものと考えられます。

このような環境のなか、当社グループにおいては、昨年11月に販売を開始したクリーナーのアクセサリとして「BALMUDA The Cleaner 専用ノズルセット」を発売しました。他方で、国内外においてメディアへの出稿等による露出や当社代表によるインタビュー等を通じたコミュニケーションを積極的に行いました。その効果の1つとして昨年進出した北米市場では、アメリカメディアによるアワード（※）を3件受賞するなど、新展開地域におけるBALMUDAブランドの構築も順調に進みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

なお、当社グループは前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

	(単位：百万円) 当第1四半期 連結累計期間
売上高	3,702
営業利益	454
経常利益	462
親会社株主に帰属する四半期純利益	301

国内販売については、昨年に引き続き外出自粛等の影響による巣ごもり需要等から、主に「BALMUDA The Toaster（スチームトースター）」「BALMUDA The Range（オープンレンジ）」「BALMUDA The Pure（空気清浄機）」等が堅調に推移したほか、前期販売を開始した「BALMUDA The Speaker（ワイヤレススピーカー）」（2020年6月発売）や「BALMUDA The Cleaner（ホバー式クリーナー）」（2020年11月発売）等も、売上高を伸ばす要因となりました。

また、海外販売については、昨年後半から復調してきた韓国への輸出環境のさらなる改善や北米市場での販売拡大等により、売上高を増加させました。

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
地域別売上高	当第1四半期 連結累計期間	製品カテゴリー別売上高	当第1四半期 連結累計期間
日本	2,439	空調関連	680
韓国	974	キッチン関連	2,167
その他	288	その他	854
合計	3,702	合計	3,702

なお、当社グループは家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

※Esquire 「The 2021 Esquire Home Design Awards」
 Mens's Health 「The 2021 Men's Health Kitchen Awards」
 Architectural Digest 「Architectural Digest's 2021 Great Design Awards (Kitchen & Bath)」

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,967百万円となり、前連結会計年度末と比べて146百万円減少しました。

流動資産は8,144百万円（前連結会計年度末比157百万円減）となり、これは主に商品及び製品が243百万円増加した一方で、売掛金が411百万円減少したことなどによるものです。固定資産は823百万円（前連結会計年度末比11百万円増）となり、これは主に繰延税金資産が64百万円、製品に係る金型等の償却により工具、器具及び備品が12百万円減少した一方で、基幹システム及び新製品開発に伴うソフトウェア仮勘定が91百万円増加したことなどによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,452百万円となり、前連結会計年度末と比べて901百万円減少しました。

流動負債は3,159百万円（前連結会計年度末比714百万円減）となり、これは主に買掛金が364百万円、未払法人税等が307百万円減少したことなどによるものです。固定負債は292百万円（前連結会計年度末比187百万円減）となり、これは長期借入金が187百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,515百万円となり、前連結会計年度末と比べて755百万円増加しました。これは主に利益剰余金が301百万円、オーバーアロットメント及び新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ224百万円増加したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績動向及び新製品開発状況等を受けて、2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想を修正しています。詳細は、2021年5月13日発表の「2021年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,452	4,414
売掛金	2,278	1,866
商品及び製品	1,271	1,514
原材料及び貯蔵品	200	227
その他	99	122
流動資産合計	8,301	8,144
固定資産		
有形固定資産	455	437
無形固定資産	125	219
投資その他の資産	231	166
固定資産合計	811	823
資産合計	9,113	8,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,476	1,111
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	367	649
未払法人税等	419	112
賞与引当金	90	42
製品保証引当金	330	363
その他	889	581
流動負債合計	3,874	3,159
固定負債		
長期借入金	479	292
固定負債合計	479	292
負債合計	4,353	3,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,149	1,374
資本剰余金	1,146	1,371
利益剰余金	2,462	2,763
株主資本合計	4,758	5,508
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1	6
その他の包括利益累計額合計	1	6
純資産合計	4,760	5,515
負債純資産合計	9,113	8,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,702
売上原価	2,136
売上総利益	1,565
販売費及び一般管理費	1,111
営業利益	454
営業外収益	
受取利息	0
為替差益	12
雑収入	1
営業外収益合計	13
営業外費用	
支払利息	3
株式交付費	1
雑損失	0
営業外費用合計	5
経常利益	462
税金等調整前四半期純利益	462
法人税、住民税及び事業税	97
法人税等調整額	64
法人税等合計	161
四半期純利益	301
親会社株主に帰属する四半期純利益	301

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	301
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	4
その他の包括利益合計	4
四半期包括利益	305
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	305

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年1月14日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行(215,200株)により、資本金及び資本準備金がそれぞれ191百万円増加しています。また、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ33百万円増加しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が1,374百万円、資本剰余金が1,371百万円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、家電事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しています。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式としての新株式発行)

当社は、2021年5月13日開催の取締役会において、譲渡制限付株式としての新株式発行を行うことを決議しました。

新株式の発行の概要

(1) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 8,000株
(2) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社の従業員 80名 8,000株
(3) 払込期日	2021年7月30日

(注) 発行価額、発行総額、資本組入額については、2021年5月20日開催予定の取締役会において決議する予定であり、払込期日は2021年7月30日のため、記載していません。